

2025年度 障害者就労施設における生産活動の効率化に資する  
ICT機器等の導入事業における事例

法人名：株式会社オレンジ  
事業所名：魚津オレンジ

1. ICT機器の製品名

【ノートPC】

iiyama STYLE-15FH127-i5-UCSX 10台

※動画編集ソフトPowerDirector 2026 Ultimate 永久版 インストール

2. ICT機器導入前の課題

- ①. 利用者が興味を示す作業として、PC等を活用したIT系の業務を挙げるケースが増えているが、現在利用者は除草や清掃、製品の組み立てや仕分けなどの単純な軽作業のみを行っており、利用者のニーズへ対応が遅れている。
- ②. 市場調査の結果、地域内にPR動画を作成したい企業が存在し、事業を開始すれば受託を受けられる状態だが、動画編集に用いるノートPCは処理能力に優れたスペックを要するため、初期導入費用が高く参入障壁が生まれている。

3. ICT機器導入の推進方法

- ①. 利用者に導入したPCを貸与し、動画編集作業に従事してもらった。未経験者や在宅作業の利用者でも安心して取り組めるよう、動画編集の経験を持つ外部指導員を招いてカリキュラムを整備し、技術指導における懸念事項がない体制を構築した。
- ②. 作業開始当初はカリキュラムに沿った課題を行いつつ、1分程度の簡単なショート動画の制作を行い、技術を習得するにつれ、工数が多い長編動画の編集にも取り組んでもらった。

4. ICT機器導入後の成果

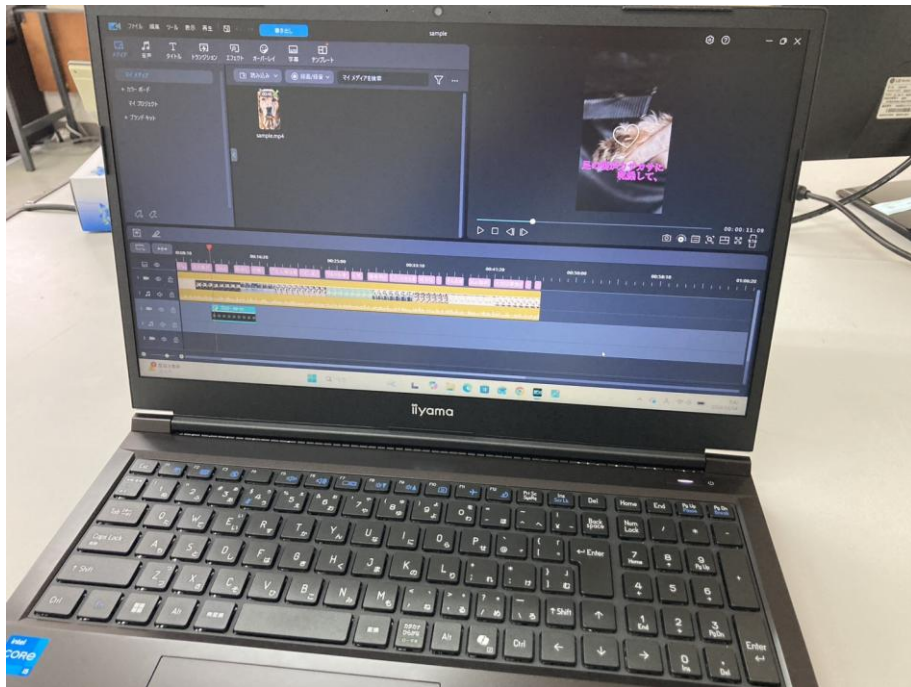
- ①. 在宅で取り組む作業が少なく、実質的に手待ち状態だった利用者、あるいは自身で所持するPCスペック不足でスムーズに作業が出来なかった利用者が、待ち時間なく作業に取り組めるようになった。
- ②. 欠席日数の多かった利用者が、希望する動画編集作業を行えるようになったことで、利用日数が増加した。
- ③. 動画編集作業を開始したことを周知したことで、事業所見学や作業希望を申し出る利用者が増加した。
- ④. 企業の製品を紹介するショート動画や商工会議所の取組みを紹介するPV動画など、動画制作の案件を複数受注し、新事業開始による販路拡大を果たした。

## 5. 今後の課題

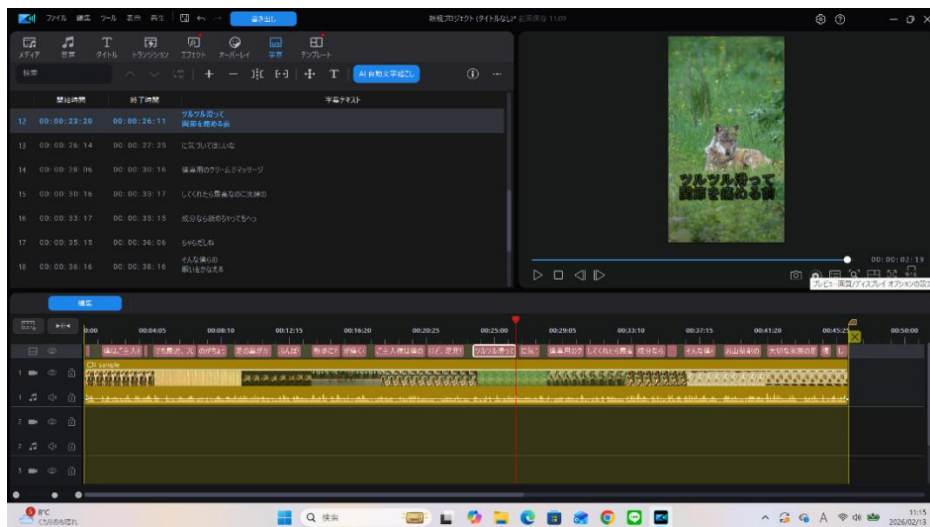
現在はショート動画や比較的簡易な編集作業が中心であるため、今後は画像加工、アニメーションなど、より付加価値の高い作業にも対応できるよう、段階的なスキルアップ支援が必要である。また、利用者が増加し制作本数が増えることで、完成動画の品質にばらつきが生じるリスクが高まる恐れがある。

そのため、利用者ごとの習熟度に応じたカリキュラムの整備や、編集作業の工程および動画チェック体制の標準化も今後の課題として取り組んで行く。

## 6. 導入機器等の写真



ノートパソコン本体（動画編集用ソフトウェア使用時の画面）



動画編集用ソフトウェア内での自動文字起こし画面